

令和2年7月1日

日立理科クラブ通信

No. 142



理数アカデミー 合同入校式

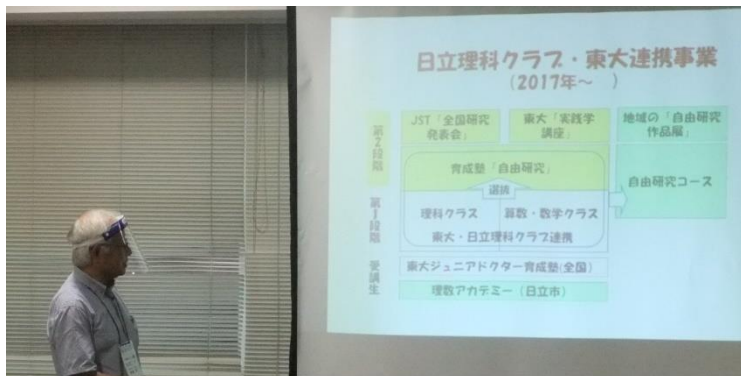
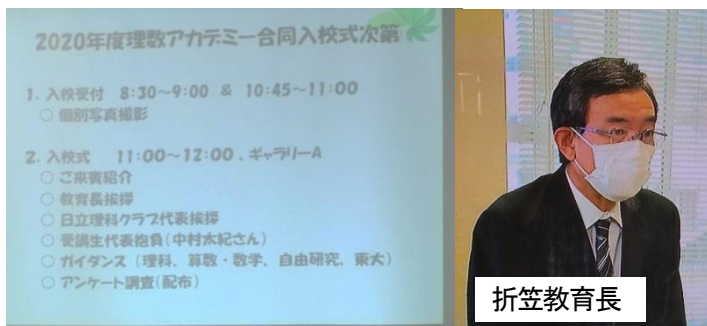
6月28日(日)、理数アカデミーの12回目の合同入校式が、教育プラザで行われました。

受講者数は、	理科クラス(小6…7名、中1…9名、中2…8名)	計24名
	算数・数学クラス(小6…8名、中1…9名、中2…6名)	計23名
	自由研究(小6…3名、中1…5名、中2…4名、中3…4名)	計16名

中1、中2、中3の受講生は、昨年も受講していた生徒が多く、継続的に学習したいという意欲が見られ、充実した活動が期待できると思います。

来賓の折笠教育長から、「科学に高い興味や関心をもつ仲間と共に学ぶことにより、世界が広がり皆さんの人生にとって貴重な財産になります。皆さんが通う学校の友達にも、理数アカデミーで学んだ理科や算数・数学の面白さを伝えて、科学の輪を日立市内に広げてください。」と、受講生にエールを送りました。

主催者の瀧澤代表からは、「理数アカデミーでは、楽しく学び深い理解をぜひ広げてください。」



皆さん一人一人が主体的に活動し、仲間との議論を通して大切なことを習得してください。疑問に思うことの一つ一つが大切であり、どんなとらえ方をしてもそのことが重要です。」と、学びの基本を伝えていました。

受講生を代表して中村太紀君(台原中2年)から、「私は今年で3年目の受講生になります。日立理科クラブの講師の先生方は、分かり易く教えてください。わからないことは、いくらでも質問してもいいので、ため込まないで、積極的に質問しましょう。」

と、先輩として、初参加の受講生に対しての心構えを述べていました。

今までは、各コースごとに集合写真を撮っていたのですが、新型コロナの密になることのために省いたり、講師の先生方も全員は集まらず、保護者の方も遠慮して例年よりも少ない参加での入校式となりました。

理科、算数・数学、自由研究のそれぞれの担当者から、一年間のスケジュールや学習の心構えなどが説明され、新型コロナの影響の中、新しい試みの活動がスタートしました。また、ジュニアドクター育成塾も並行して実施することから、東京大学関係者の先生方から、ジュニアドクター育成塾の2本柱について説明がありました。

1つは、理数アカデミーの講座の中で、アクティブラーニングを中心とした学習の展開、もう1つは、自由研究コースの中で選抜された受講生が、東京大学のキャンパスで行われるワークショップに参加したり、全国の科学に関心の高い仲間たちとのディスカッションに参加するということです。今年は、数学コースに、



高校の元校長先生も講師として参加しています。日立理科クラブは、日製OBのエンジニア、理学博士、工学博士、技術士の皆さんが中心ですが、学校の元教師も参加しています。講師の皆さんは、受講生の科学の芽を大きく成長させたいと思っています。一年間の取り組みがスタートしました。 **がんばれ!!未来の小さな科学者たち!!**